

週間感染症情報

2017年27週 2017年7月3日より2017年7月9日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	9
手足口病	26
ヘルパンギーナ	24
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	57
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	9
伝染性膿痂疹(とびひ)	19
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	
ヒトメタニューモウイルス	1

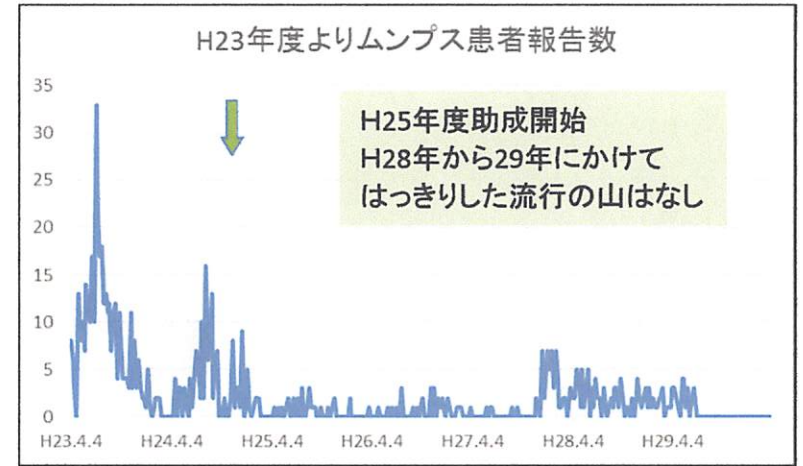
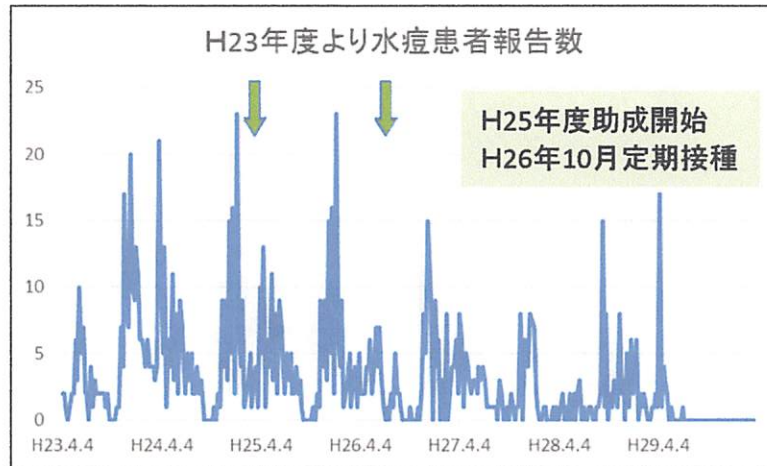
感染症の患者さんは少ないです。年少児でクループの症例が続いています。

手足口病・ヘルパンギーナなど夏のエンテロウイルス感染症が多く施設で流行しています。発熱してすぐに受診した場合は、咽頭発赤のみのことが多く、周囲の流行状況から「夏かぜでしょう。」などと診断しています。手足口病は、高熱がでて発疹の多いタイプと、微熱程度の従来のイメージのタイプとあるようです。大学生や小学生などの症例もあり一見インフルエンザかと思われる重症感があり、接触歴を聞く事が大切です。

感染性胃腸炎は、軽症のウイルス性と思われる症例が多いです。病原性大腸菌O25陽性例とカンピロバクター陽性例が1例ずつありました。夏休みに入り外食をする機会が増えます。焼肉などはしっかり火を通して食べましょう。

暑くなり伝染性膿痂疹の症例が増えています。

下のグラフは水痘とムンプスのH23年度からの報告数です。ワクチン接種率が上昇して、報告数のが大きく減少したことがよく理解できます。いずれのワクチンも2回接種が必要です。夏休みを機会に、母子手帳を確認して未接種のワクチンがあれば接種しましょう。年長さんはMRワクチンの2期を忘れないで接種しましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)